



山陰道

木質バイオマスの活用を通じ、地域振興を支援!

現在 now



将来 future

インフラ



山陰道の整備
(ネットワーク化)



〈自治体の声〉

山陰道のネットワーク化を見据え、分譲率が8割に上昇。更なる進出需要もあり、追加造成を予定。



山陰道 開通区間

平成28年度 完成予定

地域



バイオマス発電所が立地



H29年度から工業団地の面積を約2倍に造成予定



平成29年度追加造成予定

- 木質バイオマスとして国内最大級の発電量を誇る発電所がH27年に立地
- 山陰道の開通により、ヤシ殻や県内産間伐材を利用した燃料チップ製造工場から材料を搬入することが容易となり、県内全域の林業活性化に寄与
- 江津工業団地の面積をH29年度から約2倍に造成予定であり、地域産業活性化を目指す

